



# ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和4年5月13日  
NO. 21



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

## 郡市陸上競技大会に向けて

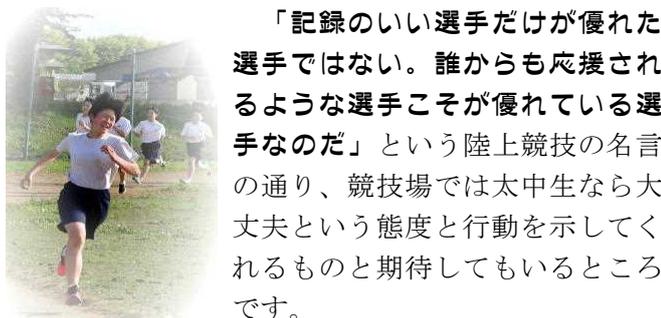
5月17日(火)、18日(水)、県営陸上競技場で行われる郡市陸上競技大会の練習の真っ只中です。本校は吉澤監督の下、39名の選手団で大会に臨みます。昨日は抽選会でした。ねらうは●●！



郡内には強豪が数多く、その相手と競うわけです。練習期間は短く、陸上競技を専門としていない生徒がほとんどですが、それでも、我が選手団には強豪太田中の名を背負い、**まず自分の記録、昨日までの自分を越えることを目指して、精一杯がんばってきてほしいと願っています。**選手一人一人の力、太中選手団の力の結集、それを支える仲間の応援の力が、きっと郡市陸上競技大会での躍動の姿となって表れるはずです。



競技に臨むに当たっては、競技場での過ごし方や態度もこのコロナ禍での大切な要素です。



「記録のいい選手だけが優れた選手ではない。誰からも応援されるような選手こそが優れている選手なのだ」という陸上競技の名言の通り、競技場では太中生なら大丈夫という態度と行動を示してくれるものと期待してまいるところです。



陸上練習と同時に、選手の練習同様に応援団の練習にも熱が入っています。16

日(月)に激励会を行います。応援はきっと選手の大きな力になることでしょう。『**仲間を励まし、認め合う太中の応援**』は今年度の重点の一つです。

以前、ペアーレ大仙のセンター長の毛利博信先生に講演をお願いしたことがありました。「心からの応援」という演題で、



「**応援は人を動かす力になる、応援する方もうれしい、工夫次第でさりげない応援ができる**」など応援への熱い思い、「いつ

つでも仲間を心から応援し、仲間から応援される人になってほしい」という中学生への期待と「**応援し合う学校、応援し合う地域に**」という願いを伺い、学校づくりの根幹を再確認した経験を思い出しています。



**選手+応援団+職員+保護者の皆様+地域の皆様 = 「チーム太中」**で、心一つに大会に臨みたいと考えております。応援よろしくお願ひいたします。